

BERC ニュース

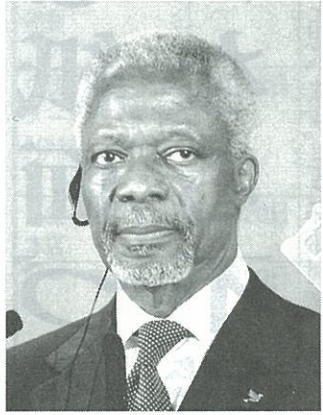
第11回国際シンポジウム

「CSR時代の国際社会貢献」

2008年度 経営倫理実践研究センター 国際シンポジウム
開催日時 2008年11月19日(水) 13:30-17:00
開催場所 国際文化会館 本館地階 岩崎小彌太記念ホール
スケジュール
13:00 受付開始
13:30 国際シンポジウム開会
13:30-13:45 会長挨拶
13:45-14:15 基調講演1 ダノンウォーターズオブジャパン株式会社代表取締役・リチャード・ホール氏「日本におけるCSRの実践 Volvic 1L for 10Lの試みと成果(仮)」
14:15-14:45 基調講演2 ユニセフ・マリ事務所 水と衛生事業担当官・トゴタ・ソゴバ氏「アフリカにおける水問題の現状と企業の役割(仮)」
14:45-15:00 コーヒーブレイク
15:00-16:40 パネル・ディスカッション
パネリスト 浦上 綾子氏(財団法人日本ユニセフ協会 個人・企業事業部) 古谷由紀子氏(社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会) 鈴木均氏(日本電気株式会社 CSR推進本部 CSR推進部長兼CSR推進室室長) 藤原かおり氏(ダノンウォーターズオブジャパン株式会社 Volvic 1L for 10L) 梅津光弘氏(経営倫理実践研究センター 兼任研究員)
16:40-17:00 質疑応答
17:00 閉会

国連グローバルコンパクト提唱10年

「国連グローバル・コンパクト(United Nations Global Compact、以下G.C)」が来年1月、提唱10周年を迎える。99年1月の世界経済フォーラム(通称ダボス会議)で、コフィ・アナン前国連事務総長(当時)がG.Cを提唱した。G.Cはグローバルイニシアティブがもたらすさまざまな弊害を解決するとともに、企業に対して「良き企業市民」としての行動を要請するもの。国連G.C 10原則(表を参照)に賛同する企業、自治体などで構成され、00年、G.Cは正



国連G.C参加の手順は以下の通り。まず、10原則に賛同する企業経営者がその旨を国連に書簡で送付、国連は書簡を受領・確認。その差出企業の名がG.Cリ

経営倫理実践研究センター主催の第11回国際シンポジウムが、08年11月19日(水)、国際文化会館岩崎記念ホールで開催される。本年のテーマは「CSR時代の国際社会貢献」。今回は、昨年から日本でも展開されている「Volvic 1L for 10L」キャンペーンとは、ダノンのミネラル・ウォーター製品「ボルヴィック」の売り上げの一部をユニセフの活動に寄付するもの。具体的には、アフリカで飲料水を確保するための井戸作りと10年間のメンテナンス活動だ。消費者の買

の間で、経験や教訓を共有できること③他の企業、国連専門機関を始めとする国際組織、政府機関、労働界、NGOと関係を築くこと、が可能になる。G.Cに参加する企業は完全なCSR優秀企業である必要はなく、不完全であっても積極的に

「企業市民」として自立促す 全世界で5976団体が参加 分野拡がるCSR活動

表：国連グローバル・コンパクト10原則
人権 原則1 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。
原則2 人権侵害に加担しない。
労働 原則3 組織結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
原則4 あらゆる形態の強制労働を排除する。
原則5 児童労働を実効的に廃止する。
原則6 雇用と職業に関する差別を撤廃する。
環境 原則7 環境問題の予防的なアプローチを支持する。
原則8 環境に関して一切の責任を担うためのイニシアティブをとる。
原則9 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。
腐敗防止 原則10 強要と賄賂を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

また国際シンポジウムの前には、08年度秋のBEO(経営倫理担当最高責任者)昼食懇話会が国際文化会館・地階榎山ルームで12時より開催される。水谷雅一BERC会長の講話「BERCの過去と将来―バランス・イノベーション・心―」が行われる。

「企業市民」として自立促す
全世界で5976団体が参加
分野拡がるCSR活動
この10年間で何が変わったのだろうか。まず、CSRを取り巻く環境の変化だ。CSRはコンプライアンス・環境・人権・労働・腐敗防止だけでなく、基本的ニーズ(食糧や水)へのアクセスを含む貧困や開発、感染症予防、紛争後の平和構築など幅広い分野がある。これら分野で企業の果たす、あるいは果たすべき役割が高まっている。また、CSR活動と営利活動の垣根が低くなっ

「CSR時代の国際社会貢献」
「CSR時代の国際社会貢献」。今回は、昨年から日本でも展開されている「Volvic 1L for 10L」キャンペーンとは、ダノンのミネラル・ウォーター製品「ボルヴィック」の売り上げの一部をユニセフの活動に寄付するもの。具体的には、アフリカで飲料水を確保するための井戸作りと10年間のメンテナンス活動だ。消費者の買

BERCニュースは「唯一」の経営倫理・CSR専門紙
創刊30号座談会
2・3面 「BERCニュース」
4面 「米金融危機の波紋」
5面 「経営倫理士のベジ」
6面 「BERCと早稲田大学の共催シンポ」「商社・不祥事」
7面 「汚染米」「インタビュー」
8面 「アングル キヤノン」
9面 「ワークライフバランス」「企業不祥事一覽」「サービス介助士」など
10面 「地球交差点」「人生の午後を楽しむ」「読んだら老けないコラム」など

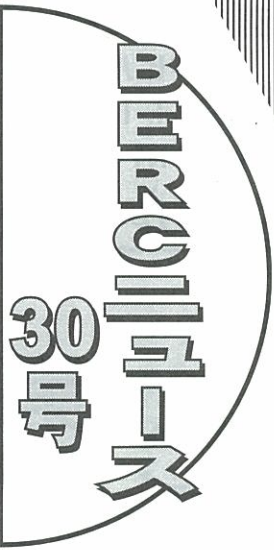
堅実な紙面づくり評価 参考になる不祥事報道

千賀 BERCCニュース と思います。そこで、討議がスタートして5年、発行30号を迎えました。本日はBERCCニュースを、日頃読んで頂いている方々に集まって頂き、紙面に対する御意見、御要望を伺いたい

と、思います。そこで、討議テーマを4つ考えてみました。「BERCCニュースの目的と役割」「研修・教育におけるBERCCニュースの利用」「不祥事報道について」「BERCCニュースへの要望」を挙げさせて頂きました。あくまで基本的な柱立てですので、項目設定にこだわらず、ざっくりとお話下さい。

はじめに、簡単にBERCCニュースの編集基本方針について説明させて頂きます。まず、紙面掲載の対象は、BERCC活動の紹介、経営倫理に関する諸動向となっております。具体的には取材と記事化の過程を説明致します。紙面づくりの基本として、「日刊新聞」型の記事スタイル、見出し、レイアウトを導入しています。次に、編集作業ですが、編集会議(水谷雅一会長をはじめ編集委員5名で構成)で検討、打ち出された方針に基づき進行します。各号の前段で編集長と執筆者が打ち合わせ、ここで取材の切り口などをさらに検討します。必要に応じて、取材対象者に直接会い、コ

掲載動向の諸倫理経営



BERCC発行30号を迎えて開かれた読者座談会。左から池田、富田、山中、村松の各氏と千賀BERCCニュース編集長、長谷川BERCCフェロー

の送付先は、BERCC会員の企業をはじめ、経団連加盟企業、大学・シンクタンクなどの学術研究機関、個人などに幅広く配布しております。

村松 経営倫理関連の専門性ある紙面づくりのために、紙面編集で何か気を使っていることはありますか？

千賀 BERCC関係を中心に少しずつ知られるようになってきましたが、まず「読まれる」という努力を心がけています。

山中 非会員企業や研究機関、個人の講読が増えているのは大変良いことだと思います。それは単なる発行部数の増加という意味ではありません。部数の増加は講読者がBERCCニュースに触発されて、経営倫理の理念を共有し、実践していくという意味でもあります。一部上場の大企業や経団連加盟企業以外にも、より開かれたBERCCニュースを目指す必要があります。

富田 BERCCニュースの高い志を改めて伺いました。紙面もすっかりチェックし、堅実に作られていることが分かりました。単なる会員紙・広報紙ではなく、企業倫理の普及などがBERCCニュースの目的であれば、BERCCニュースの拡大自体が、目的達成につながる、というわけですね。

山中 そうですね、BERCCニュースは広報紙、会員紙という側面もあります。が、幅広く新たな読者の「開拓」が、経営倫理の普及・浸透といった大きな目的につながります。

長谷川 BERCCニュースは、毎号、発行直前に編集会議が開かれます。ここでは前号を点検、反省材料を話し合います。そして次号の大刷りゲラを点検、各編集委員から幅広い指摘があります。編集会議でも、今、皆さんから出されたような問題について議論されています。第15号から

村松 そうした姿勢は、ぜひ大事にしていたいただきたいと思えます。BERCCニュースには、一般紙では伝えきれない企業倫理やCSRの動きを報道する大切な役割があると思えます。ぜひ、専門紙としての客観的視野と、深い洞察を今後も続けて報道することをお願いいたします。

富田 企業の研修・教育に関連して、当社はBERCCニュースを研修の題材作成に利用しています。しかし、研修・教育の場で、BERCCニュースをそのままだでは使えない。もっと事実関係や分析を深く掘り下げ、CSRの観点からどういう意味があるのか、を論じてもらわなければ...

千賀 非常に貴重な指摘だと思います。富田さんの会社では研修・教育用以外ではどのようにBERCCニュースを使っているのですか。イントラネット上で使用していると伺いましたが...

富田 当社ではウェブ上でニュースを掲載させてもらっています。掲載に際しては、必ず「BERCCニュース第〇〇号」と出典を入れています。

山中 現在BERCCニュース発行は2ヶ月に1回という頻度ですが、これはどういった意味が？

千賀 現在の隔月刊(2ヶ月に1回)から月刊化を希望する声もありません。これは制作コストの問題があります。現在のモノクロ印刷からカラー印刷への切り替えの問題、紙質アップなど改善点は多々ありますが、現在はギリギリのコストで製作しています。

千賀 付け加えますと、編集部としては、「企業不祥事一覧」は非常に気を使っています。行政処分を始め、事件発生、逮捕、起訴といった動き、裁判の過程など事実関係を基にまとめています。

池田 近年、BERCCニュースは経営倫理以外のテーマやBERCC関係者以外の原稿が多くなり、結果的には多様な紙面となって興味深く読んでいます。反面、最近紙面の話題が拡がりすぎて、テーマによってはもう少し深掘りする必要があるのでは、と思えます。多様性を保ちながらも

深い分析や特集連載を池田 ウェブに「ニュース」転載 富田

千賀 現在、BERCCニュースはそれなりに発展、実績を積み上げ、第2ステージに入るところ。月刊化もその流れです。

富田 月刊化もよいが、質は落とさずほしいですね。頻度よりも質は維持・向上してほしいです。

山中 隔月刊でも良いと思いますが、質とページ数の増強は必要でしょうか？

千賀 掲載された記事をフロントページに目次欄がスタートしましたが、これに合わせて同面右横に「国内唯一の経営倫理・CSRの専門紙」の表記を入れました。これは水谷会長の強い意向もあり、本紙の性格を表わすものといえるでしょう。BERCCニュースは組織の機関紙ですが、単なる会員紙ではなく、経営倫理の普及を目指すという強い意志表明です。

山中 会員企業の不祥事報道は、大変、気を使うことがあると思いますが、必ず議論になります。長谷川 悩ましいところですね。客観的に、事実を曲げず、しかし筆をいたずらに走らせず、「BERCCニュースに書かれたら仕方ない」と思われる記事にすることを心がけています。

村松 そうした姿勢は、ぜひ大事にしていたいただきたいと思えます。BERCCニュースには、一般紙では伝えきれない企業倫理やCSRの動きを報道する大切な役割があると思えます。ぜひ、専門紙としての客観的視野と、深い洞察を今後も続けて報道することをお願いいたします。

富田 企業の研修・教育に関連して、当社はBERCCニュースを研修の題材作成に利用しています。しかし、研修・教育の場で、BERCCニュースをそのままだでは使えない。もっと事実関係や分析を深く掘り下げ、CSRの観点からどういう意味があるのか、を論じてもらわなければ...

千賀 非常に貴重な指摘だと思います。富田さんの会社では研修・教育用以外ではどのようにBERCCニュースを使っているのですか。イントラネット上で使用していると伺いましたが...

富田 当社ではウェブ上でニュースを掲載させてもらっています。掲載に際しては、必ず「BERCCニュース第〇〇号」と出典を入れています。

山中 現在BERCCニュース発行は2ヶ月に1回という頻度ですが、これはどういった意味が？

千賀 現在の隔月刊(2ヶ月に1回)から月刊化を希望する声もありません。これは制作コストの問題があります。現在のモノクロ印刷からカラー印刷への切り替えの問題、紙質アップなど改善点は多々ありますが、現在はギリギリのコストで製作しています。

千賀 付け加えますと、編集部としては、「企業不祥事一覧」は非常に気を使っています。行政処分を始め、事件発生、逮捕、起訴といった動き、裁判の過程など事実関係を基にまとめています。

池田 近年、BERCCニュースは経営倫理以外のテーマやBERCC関係者以外の原稿が多くなり、結果的には多様な紙面となって興味深く読んでいます。反面、最近紙面の話題が拡がりすぎて、テーマによってはもう少し深掘りする必要があるのでは、と思えます。多様性を保ちながらも

読者座談会

一般紙と異なる専門性を

座談会

出席者

池田 耕一氏

BERCフェロー、立教大学大学院

ビジネスデザイン研究科教授

富田 真人氏

サントリー(株) CSR・コミュニケーション本部

コンプライアンス推進部長

村松 邦子氏

日本テキサス・インスツルメンツ(株)

エシックスオフィス・マネージャー

山中 裕氏

(株)三菱ケミカルホールディングス

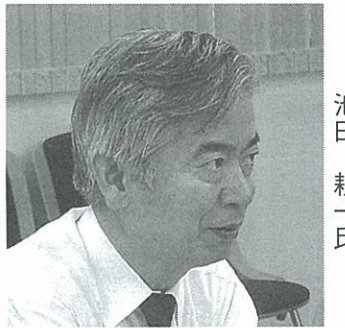
内部統制推進室部長

BERCフェロー・BERCニュース編集委員

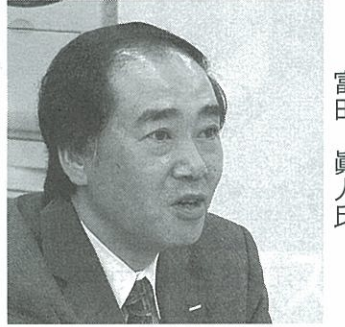
長谷川 隆

(司会) BERCニュース編集長

千賀 瑛一



池田 耕一氏



富田 真人氏



村松 邦子氏



山中 裕氏

経営倫理に関するさらに深い分析や特集記事の連載などを指す、そういう時期を迎えたのではないのでしょうか？ また当然のことですが、BERCニュースは会員企業の役に立つためのものという原点も意識することが大切でしょう。その上で、広く社会に対して経営倫理に関する情報の提供や提案を行うことに広げていっては如何でしょうか？

千賀 BERCニュースの発足当初は、会員企業向け情報提供の色合いがありました。経営倫理をめぐると、読者の関心が、従来以上に強まってきた等の背景もあります。また、水谷会長が提唱するように、BERC、経営倫理実践普

覧表ですが、とても活用させてもらっています。でも、もう少し深く踏み込んで報道してほしいです。たとえば、耐震偽装事件。あの事件にはそれなりの時代背景があったわけですね。この背景をより具体的に突っ込んで問題究明して頂きたい。

村松 不祥事一覽関連ですが、個別不祥事の時系列なまとめがあると良いですね。事件発覚、法的処分、信頼回復までの一連の流れなど。特に最後の部分の不祥事が発生した場合、どのような対応で社会的信頼を回復するのが、重要だと思っています。担当者の方

富田 先ほどの不祥事一覽表ですが、とても活用させてもらっています。でも、もう少し深く踏み込んで報道してほしいです。たとえば、耐震偽装事件。あの事件にはそれなりの時代背景があったわけですね。この背景をより具体的に突っ込んで問題究明して頂きたい。

千賀 おっしゃる通りです。重要なことは、不祥事発生後の「リカバリー」過程だと思っています。ここは重点的に、丁寧にフォローしなければいけない、と考えています。しかし、なかなか内部まで入って取材しにくいという現実があります。

村松 でもそこは頑張ってくださいたいです。会員企業からすると、一般マスメディアとBERCニュースの取材は違いますので、ぜひBERCニュースの高い専門性や築き上げてきた信頼性を活かして、リカバリー

長谷川 村松さんの指摘は非常に重要です。BERCニュース編集部も意識しているんですが、まだまだ発展途上ですね。ただし例がないわけではない。FF式石油温風機ストロープ事件以降のパナソニックが、冷

千賀 最後にBERCニュースの紙面づくりの基本について述べておきます。常に心がけていることは紙面の「品格」「正確」「公正」を三本柱としています。

山中 小さな事件でも、細かい事実関係・ストーリーもほしい。社長や当事者が現在から過去を振り返るのではなく、その事故発生当時どう考え、どう行動したか。生々しいレポートがほしい。誰も最初から不正をやろうなんて考えていない。様々な条件が重なり、プレッシャーがあり、些細なことから不祥事に発展する。その時、当事者の意見と行動は凄く重要なことだと思います。特にこの点は研修で非常に使いやすい。組織内には「自分には関係ない」という感じの人も少なくはない。彼らに実感してもらえないような、生き生きとしたケースづくりをした

池田 BERCニュースへの今後の期待を申し上げますと、BERCニュースはマスコミのセンスに加え、目指すべき世の中・組織の在り方・個々人の判断と行動のあるべき姿などについての深い思索と幅広い視野に基づいての情報発信と訴求をさらに心がけていただければ、と思います。ジャーナリストの批判精神は絶対に重要です。しかし、BERCニュースは経営倫理の専門紙です。これらのバランスが大事だと思います。どのような社会をつくるのか、どういった理念を普及し実践していくのか、という志が今後のBERCニュースにおいて一層重要性を増していくように感じます。

信頼回復過程の報道を村松 研修材料、紙面から使う山中

富田 先ほどの不祥事一覽表ですが、とても活用させてもらっています。でも、もう少し深く踏み込んで報道してほしいです。たとえば、耐震偽装事件。あの事件にはそれなりの時代背景があったわけですね。この背景をより具体的に突っ込んで問題究明して頂きたい。

千賀 おっしゃる通りです。重要なことは、不祥事発生後の「リカバリー」過程だと思っています。ここは重点的に、丁寧にフォローしなければいけない、と考えています。しかし、なかなか内部まで入って取材しにくいという現実があります。

村松 でもそこは頑張ってくださいたいです。会員企業からすると、一般マスメディアとBERCニュースの取材は違いますので、ぜひBERCニュースの高い専門性や築き上げてきた信頼性を活かして、リカバリー

長谷川 村松さんの指摘は非常に重要です。BERCニュース編集部も意識しているんですが、まだまだ発展途上ですね。ただし例がないわけではない。FF式石油温風機ストロープ事件以降のパナソニックが、冷

千賀 最後にBERCニュースの紙面づくりの基本について述べておきます。常に心がけていることは紙面の「品格」「正確」「公正」を三本柱としています。

山中 小さな事件でも、細かい事実関係・ストーリーもほしい。社長や当事者が現在から過去を振り返るのではなく、その事故発生当時どう考え、どう行動したか。生々しいレポートがほしい。誰も最初から不正をやろうなんて考えていない。様々な条件が重なり、プレッシャーがあり、些細なことから不祥事に発展する。その時、当事者の意見と行動は凄く重要なことだと思います。特にこの点は研修で非常に使いやすい。組織内には「自分には関係ない」という感じの人も少なくはない。彼らに実感してもらえないような、生き生きとしたケースづくりをした

池田 BERCニュースへの今後の期待を申し上げますと、BERCニュースはマスコミのセンスに加え、目指すべき世の中・組織の在り方・個々人の判断と行動のあるべき姿などについての深い思索と幅広い視野に基づいての情報発信と訴求をさらに心がけていただければ、と思います。ジャーナリストの批判精神は絶対に重要です。しかし、BERCニュースは経営倫理の専門紙です。これらのバランスが大事だと思います。どのような社会をつくるのか、どういった理念を普及し実践していくのか、という志が今後のBERCニュースにおいて一層重要性を増していくように感じます。

村松 電子媒体化というよりも、紙媒体と電子媒体との連携が必要だと思います。例えば、2ヶ月に一度発行しながら、その間にメールマガジンでコラムを連載するのも良いでしょう。今後の電子媒体を考慮する際、編集部体制も大きく変わる必要がある。それはBERCの広報・情報発信体制を考えると、紙媒体にも大きな意味はありますが、PDF化・データベース化も検討しては如何でしょうか？

電子化も検討課題に長谷川 「品格」「正確」「公正」を千賀

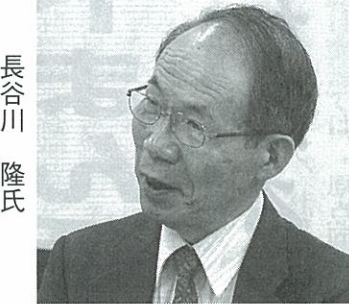
千賀 最後にBERCニ

具体的な紙面展開として、①現場レポートを重視すること(「社会貢献活動の現場から」「アングル・消費者との接点で」)②人

め、インタビュー記事を掲載すること(「トップが語る」「インタビュー・経営倫理に關連した領域に浸透している手ごたえは強く感じています。紙面内容や質についての評価も高まり

今日の座談会でのご意見を今後のBERCニュースの紙面づくりに活かしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

つつあるので、このレベル維持・向上に務めたい。特に取材に訪れた企業・機関とのコネクションは強く、貴重な関係を築けます。また、読者からの情報提供も増え始め、紙面の幅広い展開に役立っています。



長谷川 隆氏



千賀 瑛一編集長

米金融危機

モラルハザードまん延に警鐘

重くのしかかる経営責任

視点

米証券大手リーマン・ブラザーズが9月中旬に経営破綻したのを契機に世界全体に金融危機が広がり、「大恐慌の再来」といった声も出始めている。少ない資本を元手に多大な投資を繰り返し、破綻に追い込

また証券会社の罪は重い。証券会社だけに責任を押しつけるわけにはいかない。米証券大手の収益源は「レポ取引」と呼ばれる低利の資金調達。銀行などから低利で資金を借り入れ、

投資収益が見込める金融商品に資金をつぎ込んで多大な利益を計上してきた。1990年代に経営危機に陥った日本の銀行や証券会社から見ると、世界市場を牛耳る米証券会社はよき手本であり、何とかキャッ

チアップしようと努力してきた。米証券会社がこうしたビジネスモデルを活用できたのは、米国経済そのものが好調だったからでもある。米国のGDPの7割を占めるのは消費。とりわけ住宅市場の活況が米国経済を支えてきた。それだけな問題はなかったが、住宅価格が上昇を続け、「住宅バブル」の様相を呈してきたあたりから、歯車が狂い始めた。

住宅を購入する人たちは、そこに長く住むのでは

なく、値上がり益を狙うようになった。米国の金融機関は、低所得層に対しても住宅価格の値上りを見込んで住宅ローンを貸すようになり、「年収の何倍まで」という基準は緩んでしまった。証券会社は住宅ローンを証券化した商品を売買して収益を伸ばした。米金融当局はそんな情勢を危険だと感じながらも米国経済の活況に水を差さぬように目をつぶってきた。

ところが、07年に入ることから雲行きが変わってきた。サブプライムローン(信

用力の低い人向け住宅ローン)問題が米国経済の屋台骨を揺るがしつつあるとの認識が市場関係者などの間でささやかれ始めた。住宅市況が軟調に転じる中で、同年夏にはサブプライム問題が表面化し、米金融機関や証券会社は損失処理に追われるようになったのである。08年中には問題は収束するだろうとの楽観論もあったが、リーマン・ショックはそんな見方を吹き飛ばした。

10月初めには米議会で金融安定化法が成立し、金融機関から不良債権を買い取る仕組みが整った。多大な損失を生んだ金融機関を税金で救済する金融安定化法に対しては米国民の間、経営者のモラルハザード(倫理観の欠如)をもたらしと反対する意見もなお多い。巨額の報酬を手にした経営者たちの責任が厳しく問われなければならぬ。従来以上に重くのしかかっている。また住宅バ

ブルを謳歌してきた米国民にも大きな責任があるのと言うまでもない。さらに言えば、消費大国・米国を頼りに経済成長を続け、「世界経済パブル」に酔ってきた、日本をはじめとする世界各国の間も、自らの足元を見つめ直すときだろう。米金融危機は、世界中にまん延しているモラルハザードに警鐘を鳴らしている。(M)

社会貢献活動の現場から 30

「DNAの音楽、初めて聞いた」

地元中学校で「バイオIT教室」

「テイラー リララ…」
「こんな音楽が、ヒトやモノハシのDNA(遺伝子の実体)からできるんだ。科学ってスゴイ面白い!」
これは、NECソフト本社(東京・江東区)のある同区立深川第8中学校で「バイオIT教室」の授業を受けた生徒たちの感想だ。

最近の授業カリキュラムでは実験に割く時間が減る等、「理科離れ」が進んでいる、といわれる。同社の当時社長の池原氏が、「我社には、IT技術者ばかりでなく、バイオ研究者もいる。当社で、何か教育に貢献できることはないか」と、呼びかけたのがきっかけ。同社研究機関・VALWAYテクノロジーセンターから、DNA解析にIT技術を活用していることを伝えてみてはどうか、という提案。06年秋から、

NECソフト



江東区立第8中学校で「バイオIT教室」の授業をするNECソフトVALWAYテクノロジーセンターの研究者(左端)

専門の研究者が業務の合間を縫って、DNAを音楽で再現するソフトを開発した。また、このソフト(MEGASSA)を使用して授業を行うに際し、子供たちどの程度、内容を理解してもらえるかという疑問もあつた。このため、社員の子供たちを集めて試験的に授業を実施。参加した小学生から高校生までの感想は、「難しい面もあつたが、ともかく面白かった」だった。この結果をうけて、「バイオIT教室」がスタート。07年3月から同第8中学

校で授業を開始。授業では、最新でおかつ正しいことを伝えるという方針のもと、毎回、テキストを作りなおすなど、入念に準備。内容は、「なぜ、目の色、髪の色は違うのか?」に始まり、「DNAって何?」や、系統樹により解き明かされる生物の親戚関係などを解説する。アニメ使用や、ミニクイズ形式をとるなど解りやすく工夫してある。

授業中、一番盛り上がるのが、DNAの違いを音で聴く場面。DNAの4種類の塩基(A、T、C、G)で音楽を構成した同社のソフトをあらかじめ各パソコンにインストールし、生徒全員に一台ずつ用意する。一クラス30人だが、同社のスタッフ7人が指導、スムーズにパソコン操作・試聴ができる。

VALWAYテクノロジーセンター・事業企画マネジャー・山口美峰子氏は、「遺伝子をテーマに扱うことは、とてもデリケートなもの

がある。遺伝子で優劣がきまるのではないという大切な前提を踏まえ、学術的に認証が得られている遺伝子を使用。誰にとっても興味ある内容にすることを考えた。この活動を通じて、研究者の側でも学ぶことのできる良い機会。「理科離れ」が言われているが、サイエンスは、夢のある仕事ができる。生徒たちに関心をもってもらえたらうれしい。」と話している。

なお、都立夢の島熱帯植物館で、年に一回、館内の植物のDNAを音楽に変換、来館者が体験できる催し「ドレミファDNA探検隊」にも協力している。(陶)

◇
〈NECソフト〉▽設立 1975年▽資本金 86億6800万円▽代表取締役 執行役員社長 国嶋矩彦▽従業員数単体 4,729名(08年3月末現在)▽自社の特色を生かした様々なユニークな社会貢献活動に取り組んでいる。

蛍光ペン

「狂人のまねとて大路を走らば即ち狂人なり。悪人のまねとて人を殺さば悪人なり。(中略)偽りても賢を学ばむを賢といふべし。」

最近、寄付つき商品が広がっているが、その一方で批判も強い。そんな時、思い出すのが徒然草のこんな一節である。

偽悪だといって悪を行えば悪であり、たとえ偽善であっても賢者のまねをするものは賢者といふべきだといふのである。さて読者の皆さんはどうお考えだろうか。

寄付つき商品とは特定商品の売り上げの一部を寄付することをうたうたって販売するもの。例えば、ヤフージャパンはネットショッピングでためたポイントをお好きな団体に寄付できるサイト「ヤフーボランティア」を開設している。寄付つき商品は売り上げ増に結びつくことが多く、企業イメージの向上にも役立つ。このため寄付つき商品の販売が増えているわけだが、それと同時に「安易な便乗

た理念にもとづき、商品販売を通じて消費者に参加を呼びかけて集めた資金を寄付するのはなんら非難されることはない。

批判の背景には日本古来の陰徳をよしとする風土が影響しているのだろう。むろん陰徳は結構だが、そればかりに頼っているのは企業の社会貢献には必ずと限界がある。

仮に偽善であっても善は善である、という言葉がある。そう割り切ったうえで、企業が確固たる社会貢献の考えを持ち、その実行に当たって、寄付つき販売など様々な工夫を凝らすのも一つの方法だろう。

確かに一部には日ごろ環境保全とは程遠いことをやっつけていながら環境保護団体に寄付つき商品の販売を申し出るなどの例もあるようだが、そこは消費者がしっかりと見極めることが肝心で、寄付つき商品というだけで拒否反応を示すのはあまりに狭量といふべきだろう。(小山 博之)

広がる「寄付つき商品」
ヤフーは売り上げ増
消費者の見極め必要

「経営倫理士」講座二ニユース

1年コース「第12期講座」スタート

水谷会長、堀内教授ら講演

総合ガイドランス

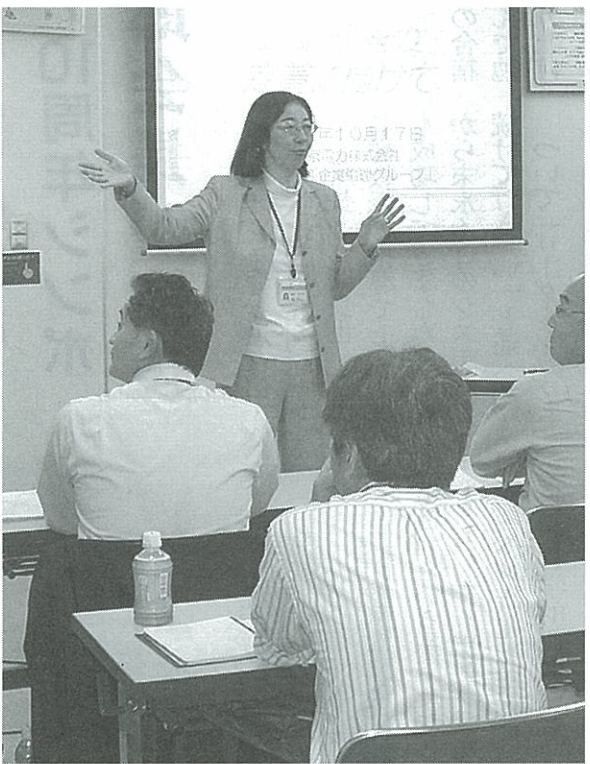
水谷雅一、千賀瑛一

「第12期・経営倫理士講座」(経営倫理実践普及協議会主催)が、10月2日、青山・ダイヤモンドホールでスタートした。今期受講者は45人。初めに、水谷雅一同協議会会長から受講生への激励と入学を祝う挨拶があった。続いて、各受講者から自己紹介があり、幅広い業種から参加、それぞれに経営倫理を学ぶ意欲が表明された。

「しない風土」「させない仕組み」からさらに、「言い出す仕組み」「何でも言える職場」の浸透を目指して、組織内の教育研修に打ち込む金子なつみさん

現場で...

経営倫理士・第9期 金子なつみさん 東京電力株式会社



東京電力総務部企業倫理グループ・金子なつみ副長は、「現在の私の仕事の原点は、05年9月に開催された湘南セミナー(BERC主催)です。当時、私は企業倫理グループに配属になったばかりでしたが、2日間にわたる同セミナーに参加したことは、企業の倫理に携わる者として、とても勉強になりました。この時、当社は、ワーキング・グループにも積極的に参加しており、4分科会の中の1つを東電が担当し、私は活動報告のサポートなどをさせていただきました。シンポジウムを通じて勉強し、他社担当者や交流や社外のパイプを作ることができたことで、非常に実り多いセミナーとなりました。翌年には、「経営倫理士講座」を受講し、9期の修了生となりました」

「当社では、1997年に『東京電力企業行動憲章』を制定し、風土改革推進キャンペーンを展開するなど、意識改革の伝統がありました。しかし、02年に原子力不祥事が発生したことから、これを契機に、本格的に企業倫理の定着に向けた活動に取り組んでいます。例年、原子力不祥事を公表した8月29日前後は、"原点回帰"の意味を含めて、社員の危機意識を喚起する様々な様々な取り組みを各職場で行っています」

「また、02年10月に企業倫理委員会を設置しました。総務部企業倫理グループが統括事務局を務め、(1)企業倫理遵守のための活動方針の策定・展開(2)企業倫理に反する事案の調査・対応等の審議を行っています」

金子さんは、このうち、企業倫理定着活動の推進を担当している。一昨年は、企業倫理の定着に向けて約100回、企業倫理研修を催したが、その約3分の1を、金子さんが担当している。研修講演では、受講者が、集中できる1時間から1時間半を目安にして話す。

「ポイントが、研修参加者いかに分かりやすく、心に残る内容にするか、です。それには、企業不祥事等の具体的なケースで説明しています。最近では、関西の料理店や製紙業界の事例を取り上げました。料理店の事例では、「最高の料理を提供することとおもてなしの心」が失われてしまったのではないかと。その企業の存在意義が問われていると思えます。それを東京電力に置き換えれば、どういふことがあるか。特に、当社では、公共性、社会的責任を強く認識してもらうことに力点を置いて教育研修を深めることにしています」

柏崎刈羽原発の震災被害では、すべて

済社会を損なう者は厳しく摘発しなければならぬ。自分勝手な利益追求は許さぬ」という新検事総長の発言に注目したい、と話した。

この中で、法令順守は当然のことで、企業不祥事続発の背景には、法令に触れるか、どつかのいわゆる「グレーゾーン対応」が問われている、と指摘。「グレーは黒」であるという基本的な認識が重要と強調した。

この後、当講座各テーマの特色と、担当講師の内容について説明した。「経営倫理士」からさらに、「言い出す仕組み」「何でも言える職場」の浸透を目指して、組織内の教育研修に打ち込む金子なつみさん

「ポイントが、研修参加者いかに分かりやすく、心に残る内容にするか、です。それには、企業不祥事等の具体的なケースで説明しています。最近では、関西の料理店や製紙業界の事例を取り上げました。料理店の事例では、「最高の料理を提供することとおもてなしの心」が失われてしまったのではないかと。その企業の存在意義が問われていると思えます。それを東京電力に置き換えれば、どういふことがあるか。特に、当社では、公共性、社会的責任を強く認識してもらうことに力点を置いて教育研修を深めることにしています」

柏崎刈羽原発の震災被害では、すべて

総論

水谷雅一

後半は、同テキストを参考にしながら、経営倫理4原理システムについて解説した。日本の経営倫理に対する取り組みは、アメリカより20年遅れていること、個人倫理と組織倫理は車の両輪で、どちらを欠いてもアンバランスだと説いた。

女性と労働と人権

堀内光子

第3回経営倫理士講座が10月14日に、文京学院大学大学院教授・元ILO O(国際労働機関)事務局長補・堀内光子氏を講師に迎えて行われた。テーマは、「女性と労働と人権」。

まず、93年から96年にかけて、国連社会問題担当委員の体験を語った。96年には、グローバル化による格差拡大が問題になっていた時代だと振り返り、国連のグローバル・コンパクトと日本での取り組みについても触れた。次に、「グローバル経済化と労働」では、ILO O「グローバル化の社会的側面」委員会報告(04年)を引用、「勝者がすべてを手に入れる」という倫理的真空状態が発生、人々は倫理的なグローバル化を求め、かつ必要」と同報告書の重要性を強調した。

企業倫理の定着に向けて

求められる「社会的感性」

「『しない風土』」「させない仕組み」からさらに、「言い出す仕組み」「何でも言える職場」の浸透を目指して、組織内の教育研修に打ち込む金子なつみさん

「ポイントが、研修参加者いかに分かりやすく、心に残る内容にするか、です。それには、企業不祥事等の具体的なケースで説明しています。最近では、関西の料理店や製紙業界の事例を取り上げました。料理店の事例では、「最高の料理を提供することとおもてなしの心」が失われてしまったのではないかと。その企業の存在意義が問われていると思えます。それを東京電力に置き換えれば、どういふことがあるか。特に、当社では、公共性、社会的責任を強く認識してもらうことに力点を置いて教育研修を深めることにしています」

柏崎刈羽原発の震災被害では、すべて

経営倫理実践研究センターと早稲田大学企業倫理研究所の共催で「ISO 26000 最新動向シンポジウム」(日本のCSR経営への巨大な衝撃)が、11月13日(木)、早稲田大学で開催され、関係者の関心を集めた。「ISO 26000の最新動向」企業取組みによる「欧米におけるCSRの展開」(欧米のCSR 26000レポートが注目を浴び、早稲田大学 Rの展開)「欧米のCSR 26000レポートが注目される」教授・同大学企業倫理理論に学ぶ。特に海目される。

BERC、早大企業倫理研共催

ISO 26000 最新動向シンポジウム

パネリストは、関氏、小林氏と立教大学大学院教授・BERCフェローの池田耕一氏、城西大学講師の井上昌美氏、東京交通短期大学学長・BERC専任研究員の田中宏司氏の5氏。

「リベラル・アーツが必要」

日本アスペン研・10周年シンポ

小林陽太郎会長が挨拶

小林陽太郎・富士ゼロックス相談役最高顧問Ⅱ写真Ⅱが会長を務めている日本アスペン研究所の10周年の記念シンポジウムが08年10月16日に都内のホテルオークラ東京で開かれた。開会挨拶で小林会長は「米国



小林陽太郎会長が挨拶する様子。背景には「リベラル・アーツ」の文字が見える。

討議形式：活発な意見

BERC 先進事例など報告

BERC 監査部会が、9月17日に東京・海事センタービルで開かれた。この日、同部会では、討議形式を採用。テーマは、「各社のISOX対応の取り組み状況について」。参加者は約20名。3つのグループに分かれ、吉田邦雄BERC専任講師のアドバイスを受けながら、各社の担当者先進事例の報告を受けて活発な討議が交わされた。BERC 監査部会

商社不祥事、後絶たず

巨大利益：かすむ倫理感

商社関連の不祥事が後を絶たない。大型プロジェクトが関連し、巨額の資金が動いているだけにその動向が関心を集めている。三菱商事は豚肉の輸入を巡り、関税を免れるために子会社を使って高く仕入れ、関税を免れたとして東京税関に摘発された。08年8月に約50億円の追徴課税を納めた。国産の豚肉を保護するために豚肉の輸入価格が1kg524円を下回った場合は差額分を輸入業者から徴収する。三菱商事はこれを免れるために食肉輸入会社を使ってデンマーク産の冷凍豚肉を520円前後で輸入したとして差額分を支払っていた。しかし、その後は、この輸入業者からは300円、400円で購入していた。こうした豚肉の輸入は三菱商事が42億円の関税を免れるためにダミーを使った、と認定された。三菱商事は米国の豚肉加工会社から直接輸入した際も輸入価格を事実よりも高く偽って2億数千円関税を免れたとして、追徴された。こうした仕組みを悪用して関税を免れる食肉卸会社は多く、こうして輸入された豚肉は「裏ボック」と言われてハムなどの原料になっている。三菱商事のよう



BERC セミナー室オープン

ビル3階)のセミナー室Ⅱ写真Ⅱが完成、研究会等の使用が始まった。最多収容人数は約45人。PCと互換性のあるホワイトボードやプロジェクトなどの設備もある。

今年8月に移転したBERC事務局(東京都千代田区麹町4-5-4 桜井)

米国の株主優先の会社運営についてはゆけな。現在、新しい資本主義の形として公益資本主義というのがモデレーターは村上陽一郎・東大名譽教授が勧めた。当日は約300人が出席した。

三井物産は九州支社で元嘱託社員らが取引先との間で循環取引にかかわって不正取引は総額83億円に上った。約9割は架空取引であった。不正取引は00年9月から約7年半にわたり続けられた。三井物産は関係者を福岡県警に告発した。

また、伊藤忠商事も10月10日にモンゴルへの融資が商品取引として処理されて00年以降に売上高が537億円ほど過大計上された、と発表した。取引を担当した建機・海外プロジェクト部元課長を8日付で懲戒免職処分にした。モンゴルの資源開発会社グループにロシアから輸入した建設機械の販売を99年に開始した。00年に同グループの資金繰りが悪化したために売買契約と偽って融資を始めた。現時点で利息分を含めて103億円が未払いになっている。

BERC入会の御案内

経営倫理実践研究センター(BERC)では賛助会員の入会申し込みを受け付けています。BERCは、我が国初の経営倫理の実践研究専門機関です。企業不祥事、不正の防止や企業の社会的責任を果たすため、理念普及、教育研修のノウハウ提供、実践活動研究グループへの参加、会員社間の交流と情報交換など幅広い活動を進めています。▽年会費50万円▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録する。申し込み・問い合わせは 経営倫理実践研究センター事務局へ。

電話 03(32221)1477
FAX 03(32221)1478

汚染米転売に司直のメス

流通経路を徹底解明

農水省も規制強化へ

コメの価格差を悪用した 経路の徹底的な解明が待たれる。汚染輸入米の不正転売に、たれる。不正転売されたのは、ミヤカビが検出されたコメを、ニナム・アクセス(MA)やカビが検出されたコメを、米と呼ばれる輸入米の中で食用として流通させた業者が、食用に向かないと判定され、倫理観の欠如には、批判 食用に向かないと判定されが高まる一方だ。主食の安 した「事故米」。米粉加工・全を守るため、手口や流通 販売の「三笠フーズ」(大

インタビュー

経営倫理 我社の取り組み ⑮



荏原製作所
コンプライアンス室
室長 浅井 良紀さん

「当社では、昨年度より『コンプライアンス・リエゾン制度』を導入し、昨年12月1日付で32名のリエゾン委員が誕生しました」と、荏原製作所コンプライアンス室長・浅井良紀氏は、話

「当社では、昨年度より『コンプライアンス・リエゾン制度』を導入し、昨年12月1日付で32名のリエゾン委員が誕生しました」と、荏原製作所コンプライアンス室長・浅井良紀氏は、話

「当社では、昨年度より『コンプライアンス・リエゾン制度』を導入し、昨年12月1日付で32名のリエゾン委員が誕生しました」と、荏原製作所コンプライアンス室長・浅井良紀氏は、話

注目される「リエゾン委員」制 現場浸透：徐々に効果出る

も中心となるメンバー達です。強力で新タイプの現場

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

も否めない。9月初旬の問 題発覚後も同省は当初、転 売業者のリスト公表を拒 否。当時の太田誠一農相 が「じつは怖いではない」と 失言し、事実上更迭され るなどの危機感の欠如を露 呈した。

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

〈国の補助金支給問題〉 公金意識の欠如に批判 「預け」などの手口横行

この問題は地方分権の推 進論議に少なからぬ影響を 与える。地方分権化論議 は政府補助金を減らし、自 治体が自由に使えるお金を 増やす方向で検討されてい る。したがって、このよう な不正経理の続発は、分権 化の論議に水をサシ、悪影 響を与える。都道府県だけ でなく、各市町村も足元を チェックする必要がある。

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

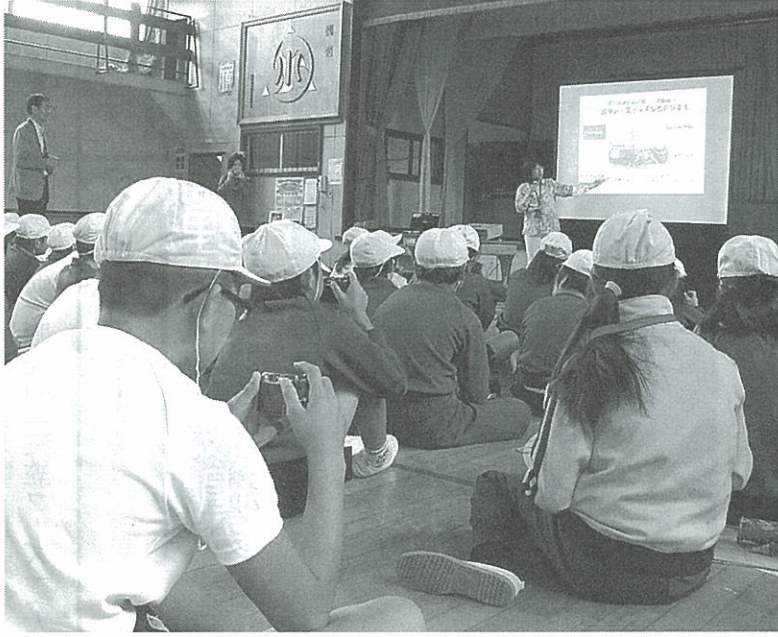
「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

「当社では、現在、風水力機械のポンプから半

アングル

消費者との接点で⑭

雨上がりの埼玉県秩父市 同小5年生の2クラス66名。立影森小学校で、子供達がデジタルカメラを片手に校内を散策していた。キャノンが主催する写真教室「ジュニアフォトグラファーズ」撮影、発表会という流れ。写真文化を通じて子供達の感性を育むと同時に、環境意識を高め、自分たちの住む学校・地域・自然を再発見する機会を提供している。プロ写真家の永武ひかるとの協力もあり、本格的な写真教室となっている。



カメラの使い方をレクチャーするキャノン社員と聞き入る児童たち(上)と池の中の金魚を撮影する女子児童(下) 立影森小学校。



集をしているが、回数を重ね、教員や小学校間の口コミや保護者の方からの学校への紹介なども広がった。小学校が中心だがガールズアウトや地方自治体からの申し込みもあり、保護者が子供達と一緒に参加する場

チャンスを探す。普段は気付かないシーンを「再発見」する視点は、児童ならではのアンゲルだ。開催地によっては、地元神社・公園や河川、海岸線へ繰り出すこともある。今回は雨上がりの直後。雨を活かした作品も多く見られた。例えば水溜りに映った校舎、花弁の中の雫、色とりどりの遊具、タイヤを虹に見立てた作品など。世話役のキャノン社員も「子供達の感性・想像力には毎回驚かされる」とも話す。

撮影後は児童自ら選んだ一枚をその場で印刷。タイトルを付けて、鑑賞会・発表会だ。写真の印刷は工夫が、昇華型と呼ばれるプリンタ。白地に「イエロー」「マゼンタ(赤)」「シアン(青)」と順に「色の三原色」を重ね刷りしていく。印刷プロセスを体感できる仕組み。タイトル付けはなかなか難しい様子で、考え込む生徒も。その後、自分や友達作品を紹介しながらの楽しい発表会。

今年度の各地の写真教室が終了して、11月半ば、六本木で写真展が開催される(同時に写真教室も開催)。

ジュニアフォトグラファーズは地域コミュニティの要望から始まった。キャノン本社がある大田区などの小学校や地元NPOからの依頼で、機材貸し出しや写真関連イベント開催へ協力したことがきっかけ。当初の活動は都内中心であったが、全国に拡大した。さらに、地域に貢献したいというキャノングループ各社の思いもあった。秩父市では2回同教室が開催されたが、秩父に本社を置くキャノン電子の仲介・協力があつた。逆に小学校からはキャノン工場見学に訪れ、小学校・地域と企業の相互交流が深化しているケースもある。

キャノン文化支援推進室・内田室長は「ジュニアフォトグラファーズはキャノンのカメラ・メーカーとしての『強み』を活かした活動。地域に密着して、環境保全などの視点を取り入れており、学校現場からの開催希望は年々高まっている。今年も初めての冬開催(12月)を企画している」と語った。(責)

ジュニア フォトグラファーズ

小学生らデジカメに夢中

地域、環境などがテーマ

キャノン

合もある。参加人数が多いと2日がけの場合もこれまでに南は沖縄、北は北海道まで「出前授業」が展開された。

立影森小学校での撮影場所は校庭。多くの子供達は普段の遊び場からシャッター

理するという、顧客サービスに密着したシステムのトラブルだっただけに、管理サービスのバグなど予測不能の落とし穴があつたのではないかと推測された。ところが大騒ぎしたあげくに判明した原因は「担当者の日付の更新を忘れていた」という単純な人為ミス。なぜ防げなかったのかとの批判質問が相次いだ。JR東日本の原因は東京新幹線車両センターのハードウェアが故障した上、自動的バックアップ用の別系統

システムトラブルに共通の背景

継ぎはぎ増強で脆さ

ブラックボックス化に問題も

全日空が大量の欠航を出したかと思えば、JR東日本が東北、上越、長野新幹線を約4時間にわたり運転見合わせにするなど、このところ交通・通信・金融と

いった社会の重要インフラで一般利用者を巻き込んだ大規模なシステムトラブルが続発している。ソフトウエアのバグ(書き間違い)やハードの故障から単純な

人為ミスまで原因はさまざまだが、背景に「継ぎはぎ的なシステム増強の脆さやブラックボックス化による対応能力欠如といった共通の歪み」が垣間見える」と指摘する専門家は少なくない。

全日空が会見してトラブルの原因を説明した際には、記者の間から思わず失笑が漏れた。各空港で搭乗手続きや手荷物預かりを処

NHKが行動憲章を改訂

公共放送の使命貫く

起訴された。

04年9月、NHKは倫理・行動憲章を制定し、コンプライアンス遵守・ガバナンス強化を打ち出した。

また、06年8月、コンプライアンス・内部統制の状況を評価し、政策を提言するコンプライアンス委員会を設置し、翌年4月には「コンプライアンス推進のアクションプラン」を発表した。

しかし、結果的にこうした努力は十分ではなかった。今年に入って2件のインサイダー取引が発覚し、6人の職員が懲戒免職処分となった。

発信波数・量、従業員や予算規模などの点で日本最大の放送媒体として、NHKはその社会的責任が求められる。今回、倫理・行動憲章および行動指針が改定されたが、どこまで実効性があるのか。組織と人の実質的な変革が求められる。NHK第二次コンプライアンス委員会最終答申(08年10月28日公表)でも指摘されている「NHK組織風土の変革」が必要とされる。

NHKは、10月15日、「NHK倫理・行動憲章」「行動指針」の改訂版を公表した。従来の憲章の項目数を減らし、簡潔化したという。行動の基本として、①公共放送の使命をしっかりと②視聴者の信頼を大切にすること③受信料の重みを認識した業務遂行④コンプライアンスの徹底⑤活力あるより良い現場づくりを掲げた。また職員が携帯できるよう、名刺サイズの憲章を全職員に配布する予定。

04年頃から、NHKは不祥事続きだつた。経費の不正使用などで海老沢勝二NHK会長(当時)が04年9月、衆議院総務委員会で国会参考人招致を受けた。その際、NHKが普段行っている国会中継を行わなかったことがさらに問題視された。また翌年、NHK大津放送局の現役記者が放火の容疑で逮捕・

コストの問題などもあつて管理する人の体制が追いついていない。また多くの企業にとって情報システムはブラックボックスのような存在で、維持管理をシステム会社に任せっきりにしていく点も、いざというときの対応能力の欠如につながっている。

さらに根本的な問題は「壊れることを前提にしたシステム設計ができていない」こと。システムは人間がつくるものだけに、大きくなればなるほどソフトに

バグが発生したり、ハード内部や接続部分などに問題が起きたりする可能性も大きくなる。障害をなくすことより、どこかに障害が発生してもそれを迂回してシステム全体が動き続ける仕組みが重要。専門家は「社会の重要インフラを預かる企業のトップは効率経営だけでなく、もつと社会的責任を認識すべきだ。システム構築は手始めにすぎず、使い出してから管理作業にも責任を持たなければならぬ」と話す。(学)

に切り替わる機能が働かなかったこと。装置を手動で再起動したためデータの読み込みや確認作業に手間取り、復旧まで時間を要したという。

金融機関のトラブルは、おカネが絡むだけにある意味もつと深刻。今年5月の三菱東京UFJ銀行システム統合初日に起きたトラブルでは、提携銀行であるセブン銀行など6金融機関のATM(現金自動受払機)から出金できなくなつた。原因は単純なプログラ

企業不祥事等の概要 (2008年9~10月)

Table with 4 columns: Company Name, Date, and Description of the incident. Includes entries for Sanwa Foods, Social Insurance Agency, and various food safety incidents.

(表は主要5紙を参考)



発表者と参加者の間で活発な議論が交わされた総合ディスカッション

10月25日に、慶應義塾大学日吉キャンパスで開かれた。今回の統一論題は、「経営倫理と利益」。

時間や睡眠を少なくして運動や睡眠にあれば社員はメンタルヘルス改善につながり生活習慣病の予防にも役立つ。

日本経営倫理学会主催の第16回研究発表大会が、

研究発表大会 3会場で活発な議論 <日本経営倫理学会> 統一論題「経営倫理と利益」

発表者と接する企業各社は高齢者や障害者向けサービスで従来以上の充実を図っている。特に目立つのは、従業員の資格取得の加速化。

イオンは、既に06年頃から、ジャスコ全店長がサービス

10月25日に、慶應義塾大学日吉キャンパスで開かれた。今回の統一論題は、「経営倫理と利益」。

ワークライフバランス

不況下でも、見直される効果

労働生産性向上にも役立つ 社会的責任経営へ好影響

景気の先行き不透明感が一段と増す中で「ワークライフバランス」に対する企業の関心は逆に高まりを見せている。

消費者と接する企業各社は高齢者や障害者向けサービスで従来以上の充実を図っている。

時間や睡眠を少なくして運動や睡眠にあれば社員はメンタルヘルス改善につながり生活習慣病の予防にも役立つ。

サービス介助士ら店頭に

資格取得が加速化

は▽現在1割を超えている週60時間以上働く雇用者の割合を2012年に2割減らし、2017年には半減させる▽現在46.6%の有給休暇取得率を12年

の販売担当は介助士2級の取得が義務付けられている。小売業に限った話ではない。

回顧随想 <29> ライフ・ワーク としての経営倫理

BERC会長 水谷雅一

前号までに生と死の問題について述べたが生と死はいわば不連続の連続であり、隣り合わせの存在である。万人共通の死が何時訪れるかは何人も解らない。神仏

という絶対者のみが知っているのかもしれない。それを天命と呼ぶ人がいるが、神仏に身を託し神仏を信仰する宗教信者は宗派を問わず地球上たたくさん存在してい

メモント・モリ

この死の問題についてはほとんど重視してこなかった。ドイツの哲学者I・カントは形而上学(哲学)的には倫理は死や宗教の問題を対象としないと明言している。以来哲学において倫理と宗教は別次元のように扱えられたきたようである。しかしいわゆる倫理の実践を考えると個人の心や魂の問

文化のページ

結晶だったが、成功裏には大きな家族愛があった。印刷業のあと、当時人気であった自転車の改良と開発、販売を手がけていた兄弟が、次に目をつけたのが、仕事量が減る冬シーズンでの飛行機開発だった。手順は、きわめて科学的だった。飛行に関する本を読みふけり、ドイツのリリエンタールのグライダーなどを参考にして、機体や翼の構造を分析。グライダーでの飛行や風洞実験を繰り返し、研究を重ねた。

地球交差点

取材メモに残ることなど…

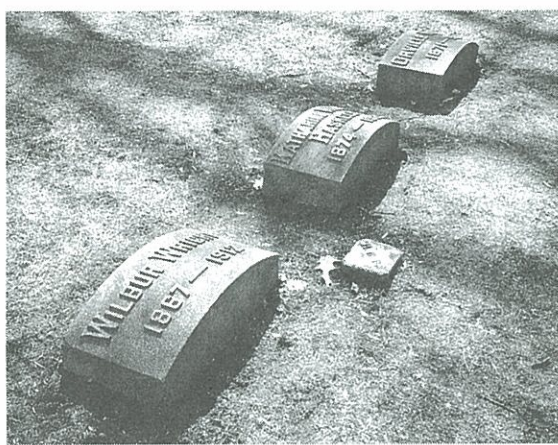
< 4 >

初飛行に成功したのは、米国のライト兄弟だ。牧師の家に生まれた3男のウィルバーと5男オービルとの兄弟コンビによる、たゆまぬ工夫と努力が実った夢の

初飛行に成功したのは、米国のライト兄弟だ。牧師の家に生まれた3男のウィルバーと5男オービルとの兄弟コンビによる、たゆまぬ工夫と努力が実った夢の

初飛行を支えた家族愛

ライト兄弟と妹



米国オハイオ州デイトンにあるライト兄弟の墓。妹キャサリン(中)も、兄弟にはさまれて仲良く眠る

生身だった兄弟の面倒をみ、よきパートナーだった弟の飛行機開発には理解

大学を出たあと高校の教師になり、結婚もするが、兄弟の飛行機開発には理解

人生の午後を楽しむ

佐江衆一

カナダ留学で若返った私は、翌年六十六歳の春、ニュージーランドのワイカト大学に二週間留学した。今度もホームステイで、ホストファミリーは五十代半ばのK夫妻。夫のロンさんは保険会社を退職して

セミ・リタイアメントのロンさんと

毎朝、夫人と朝の散歩。が過ぎ、一人一分間で卒業スピーチ。一分は短すぎると英語の特訓だ。ロンさんのつくってくれた朝食をすませて、私はバスで大学へ。私は唯一の日本人「mature student(熟年学生)」だ。先生は二回離婚歴があり今は年下の亭主らしいと言えはOKだと。[I'm exhausted. (私、本番で私が腕時計をチラと見てこの言葉を言うと、聴衆から笑いと拍手がおきて、K夫妻はヤッター!と親指を立てて笑っている。] 翌日、妻が日本から来長い人生にはこんなこともあるのだ。(作家)

読んだら 老けないコラム

今回は、とても大切な働きをしているのに控え目な、「膵臓」の登場です。膵臓は、一般に長さ13、4cm、幅3cm程度の「へ」の字型をしています。なんと、永らく体内にあることも確認できなかったミス

またその位置も、丁度、胃の真後ろにあり、触診で触れることができないので、日本では江戸時代ごろまで

40歳からのAge-less

ワンポイント②
< 膵臓・その1 >

このように長らく日陰の身だった膵臓ですが、とても大切な二つの働きをしています。その一は、消化器官として膵液という、たんぱく質や炭水化物、脂肪を分解する総合消化酵素を分泌する働き。そしてもう一つは、みなさんにもお馴染みのインスリンなど、血糖値の調節ホルモンを分泌する働き。胃は各自の握りこぶし2個分くらいの大きさですが、それ以上に膨れると、ガスがたまりやすくなります。

この一人二役の演じ分けも実に巧みで、染色液で染めると、膵臓にはくっきりと島のように浮き上がる細胞があります。発見者になんで「ランゲルハンス島」と名がついていますが、この島が血糖値の調整ホルモンを分泌。このうちA細胞が血糖値を上げるグルカゴン、B細胞が下げるインスリンを担当しています。そして、この島以外の膵臓は、医療福祉ジャーナリスト おちとよこ